

SPARC Japan 第 4 期の活動方針について（案）

1. 第 4 期の基本方針

「国際連携の下でのオープンアクセスの推進，学術情報流通の促進および情報発信力の強化」に取り組むことを基本方針とする。

- ・従来の学協会ジャーナル支援は科学研究費助成事業の研究成果公開促進に委ねる。
- ・大学図書館と研究者の連携を促進し、オープンアクセスを推進する。
- ・学術雑誌にかぎらず学術情報全般の国際的な流通と発信力強化を促進する。

2. 組織体制

- ・引き続き，国際学術情報流通基盤整備事業運営委員会を組織する。

3. 事業単位

SPARC Japan 第 4 期の事業期間は，平成 25 年度～27 年度の 3 カ年を想定する。

『学術情報の国際発信・流通力強化に向けた基盤整備の充実について』（平成 24 年 7 月）に，科研費等競争的資金による研究成果のオープンアクセス化への対応と機関リポジトリの活用による情報発信機能の強化について記載されたことに留意しつつ，第 4 期も独立した事業として実施する。

4. 具体的なプロジェクト

（1）国際的な OA イニシアティブとの協調

- ・ SPARC、SPARC Europe をはじめとする団体との国際連携
- ・ SCOAP³，arXiv.org 等への支援のとりまとめの継続
- ・ ORCID への協力

（2）オープンアクセス支援のパイロットプロジェクト

- ・大学のオープンアクセスジャーナル契約の支援
- ・大学における OA ポリシー策定の支援

（3）アドボカシー活動

- ・ SPARC Japan セミナー
企画 WG を設置し、年間 6 回程度実施。
- ・ SPARC Japan Newsletter
ニュースレターの内容・刊行方式を見直し，セミナーの記録を中心とした速報性の高いものを発行する。